

和光市政を耕す <sup>たがや</sup> 市政に新たな種をまき、VOL. 31  
芽を育てよりよい街にしよう!

# たけちゃん通信



2017年の一年の世相をひと文字で表す「漢字」は「北」に決まりました。

はがきやウェブサイトを通じた公募で決まる「今年の漢字」は、12月12日の「漢字の日」に一年を振り返り、漢字一字に込められた奥深い意義を再認識する機会を持つことを目的に始まり今年で23回目となりました。2017年は15万3594票の応募があり「北」が7104票。度重なる弾道ミサイルの発射や核実験の強行など「北」朝鮮の動向に脅威と不安を感じた年であり、トランプ米大統領来日時の「北」朝鮮による拉致被害者家族との面談で、日本国民が「北」朝鮮拉致問題を再認識した年でした。また、九州「北」部では記録的豪雨により甚大な被害が発生したほか、「北」海道産ジャガイモの供給が滞ったことによりポテトチップスが一時販売休止になりました。さらに、球界では、大谷翔平選手の大リーグへの移籍や、早稲田実業高校の清宮幸太郎選手の入団など「北」海道日本ハムファイターズに注目が集まり、競馬界では「キタ」サンブラックが現役最強馬として大活躍したなどが理由に「北」が選ばれました。



**平成29年12月定例会議会報告**  
平成29年和光市議会12月定例会（議会）が、11月30日（木）より会期20日間の日程で開会し12月19日（火）に閉会致しました。今定例会には議案第72号から議案第82号までの12議案が上程されました。また、最終日に議案第83号が追加上程されました。審議内容及び審議結果については、和光市議会ホームページにてご確認ください。

尚、和光市議会を広く市民の方々に公開し、より開かれた議会を推進するために、開催中の市議会の音声及び画像を記録し、インターネット上で公開しています。録画中継は、原則として本会議の翌日から起算して5日（土日を除き）以降に配信することになっています。

## ※議案第76号和光市都市計画税条例の一部を改正する条例を定めることについて（賛成多数で可決）

都市計画税の税率を引き上げる議案が提出されました。都市計画税の主な使い道は、道路事業・土地区画整理事業・公園事業・下水道事業・市街地再開発事業などの一部を負担して頂くことを目的とした目的税です。今回の提案は、社会保障経費の増加や公共施設の老朽化に伴う維持管理費の増加により都市計画事業に充当できる財源の確保が難しいことと理由で増税することとしています。以前、市民の負担を軽減するために、平成8年度から税率を100分の0.3から100分の0.2に引き下げられました。雇用環境の改善、所得の増加、消費の持ち直しが図られていると言ったところで、総括的に見ると景気判断としては、緩やかに回復されているようですが、市民生活の実態としては、景気回復を実感していない状況かと思えます。こうした経済状況の中で、20年以上も都市計画税の減税が行われ、制度として定着しているものを増税することは、市民に与える経済的・心理的影響は大きく影響を与えることは必須です。固定資産税や都市計画税は、資産を保有している市民は担税力があるとの前提で課税されるもので、実際に収入があるかないかに関係なく課税されています。今回財政が厳しいという状況の中での引き上げを提案するのだという理由になっているわけですが、財政が厳しいという状況の中で市の施策を、どこまでどういう形で全体を見直し、検討されたのか、今回提案する増税分が何に使われる見込みかを明確にすることが先であると思います。また、財政健全化条例のあり方の検討をはじめ、今後の和光市の財政を改めて考えることも重要だと思います。

平成30年度には、国民健康保険税、消費税の増税、介護保険見直し、手数料見直しなども検討されています。都市計画税の引き上げは、一層の市民生活に影響を及ぼすものと考えます。

今、税率の見直しをするのではなく、これら課題を解消された上で、再検討をしてみたいと思います。以上のことから、議案第76号に反対しました。



## 吉田たけしが市政に対する一般質問をした内容(抜粋)



### いじめ問題について

**【質問】** 埼玉県で判断基準の統一化を目指して独自に事例を細分化したことで、いじめ認知件数が2倍になりました。当市の現状のいじめ認知件数は。

**【答弁】** 平成28年度の和光市内の小中学校におけるいじめの認知件数は48件と、前年度のおよそ2.3倍に増加しております。また、今年度の1学期終了時点での認知件数は19件と、昨年同時期までの認知件数と比べておよそ1.7倍となっております。

**【質問】** 一つ一つの案件に教員が対処して多忙になることで、クラスが荒れたり、いじめも起きやすくなると考えられます。いじめ認知に対処する人的手当も必要ではと考えます。人的なケアはどのようになっているか。

**【答弁】** 小中学校の教育相談室に、相談員を1名配置し、児童や保護者が身近で相談できるような体制を整えております。また、中学校においては、その他にもさわやか相談員やスクールカウンセラーを配置しております。

**【質問】** いじめの初期段階で積極的に認知すれば解決に向けて進められます。いじめを巡る子どもの保護者等のいじめ相談窓口の設置は重要だと考えます。設置についての考えは。

**【答弁】** 市の教育支援センターに2名配置した臨床心理士が相談に応じることとなります。また、1名配置しているスクールソーシャルワーカーも、いじめを含めた保護者の相談に対応しているところです。

**【コメント】** 子供たちは、一人一人の人権が尊重され、健やかに成長する権利を有しています。次代を担う子供たちが一人の人間として尊重され、その成長が保障される環境をつくるのが、全ての者に求められている責務であります。一方、子供たちは、自分を大切にするとともに、他者を思いやり、良好な関係を築くとともに、いじめを絶対に許さない勇気をもって明るい学校生活づくりに努めなければなりません。私たちは、いじめをなくし、子供たちが安心して生活し、健やかに成長することができるまちの実現を目指していかなければなりません。ぼやを放っておけば大火事になる。こうした認識で大人がいじめを見れば、子どもの認識も変わる。今は大火事を防ぐまでの過渡期だろうと思います。今後は、いじめ解決や撲滅に向けて、教育委員会だけでなく、市長部局とも連携し、積極的にかつ一貫して取り組んで頂きますようお願い致しました。



### 不登校問題について

**【質問】** 不登校の現状と、増減について

**【答弁】** 小学校では『家庭に係る状況』が多く、中学校では『学業不振』や『進路に係る不安』が主な理由となっております。小学校では若干の増加でしたが、中学校では減少傾向です。

**【コメント】** 不登校の要因や背景が多様化・複雑化し、教員だけでは対応が困難化した現在においては、様々な専門スタッフと連携協力して効果的な体制を構築することが求められています。一人の教員だけが問題を抱え込むのではなく、校長以下一丸となって、組織的な指導体制を整えることが必要であります。また、いじめ対策同様に教育委員会だけでなく、市長部局とも連携し、積極的にかつ一貫して取り組んで頂きますようお願い致しました。

## (仮称)和光北インター東部地区土地区画整理事業について



### 国道254号和光富士見バイパス延伸計画について

**【質問】** (仮称)和光北インター東部地区地権者説明会の資料の中で、通学路などの安全対策をと言うところで、通学路には幅の広いスロープ状歩道橋の設置イメージ図が掲載されていますが、やはり下新倉小学校を分断する道路計画になっているのか。

**【答弁】** 県が行っている254バイパス延伸計画の検討状況について市が把握していることは、現在、東京都との協議を進めているということだけで、具体的な検討内容については、示されていない状況です。バイパス延伸の検討内容がなぜ示されていないかと言うと、254バイパス延伸の特殊性にあります。254バイパスの延伸は、通常の県内で完結する県道とは異なり、東京都に跨る国道であるため、国道としてのネットワークのあり方や、都内の道路への受け皿をどうするのか、といった事も検討が必要です。このため、県だけで検討が進められるものではなく、計画や実施の主体者となる東京都や国に了解をもらえなければ、検討が進まないという実情があります。これまで何十年も検討が進まなかったのも、こういった特殊な事情がある訳で、県が懸命に協議を行っていただいているものの、まだ計画を示してもらえない段階では無いというように理解しております。

**【コメント】** 国道254号バイパスの必要性について対象地域住民の皆さんに説明して理解を得て、進めていくことが大切だと思います。また、対象地域住民の皆さんの要望・意見をしっかりと埼玉県に伝えて欲しいと思います。今、説明不足により対象地域住民の皆さんは大変不安を感じていると思います、今後、丁寧な説明をしっかりと頂きますようお願い致しました。

※下新倉小学校を分断することなく、下新倉小学校を北側に過ぎてから、レインボーモータースクール交差点に接続するのが望ましいと思っています。



## スポーツ推進計画について

**【質問】** スポーツ推進計画では、実施施策として、「する」スポーツ、「観る」スポーツ、「支える」スポーツを掲げています。和光市は、埼玉西武ライオンズ応援ポスターを庁舎壁面に掲示したり、主催試合の招待券等を配布しています。埼玉西武ライオンズとの連携協定は、スポーツ推進計画ではどのような位置づけになっているのか。

**【答弁】** 埼玉西武ライオンズとの連携協定は、スポーツ推進計画には反映ができておりません。ご指摘のように、スポーツ振興の観点からも有効な協定内容となっておりますので、施策として盛り込んでいきたいと考えております。

**【コメント】** 埼玉県では、2018年から22年度までの5年間にスポーツを推進するための施策の方向性や取り組みを示す、埼玉県スポーツ推進計画案を策定しました。スポーツを週1回以上行う20歳以上の県民の割合を16年度の52.9%から22年度までに65.0%以上までに引き上げるなど、具体的に達成すべき八つの指標を設け、関係団体と連携してスポーツへの取り組みを推進することとし、スポーツをする、見る、支えることを広くスポーツの関わりとして捉えて策定されました。19年には県営熊谷ラグビー場でラグビーワールドカップ、20年には朝霞市での射撃大会、埼玉スタジアムなど県内4会場で東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。また、県内には西武ライオンズや浦和レッズ、大宮アルディージャなどのプロスポーツチームや、アマチュアスポーツにも強豪チームがあります。今回私もアジア・エアガン選手権大会を観戦しました。見るスポーツとして、市外でも県内開催するスポーツの試合を会場で観戦する機会を増やす努力をして頂きたいと思っております。大目標に向けて、見るスポーツから始まり、スポーツをする、支えるに繋がると思っております。スポーツを活用した魅力ある地域づくりのためにも、観戦機会の割合を増やして頂きますようお願い致します。



## 学童保育の現状について

**【質問】** 子どもが小学校に入学すると仕事と子育ての両立が困難になる、いわゆる小1の壁を解消することを掲げ、放課後児童クラブを2019年末までに約30万人分整備するという目標を掲げました。また、2015年4月にスタートした、子ども・子育て支援制度では、小学校4年生になると放課後児童クラブの退所を求められる、小4の壁の解消の観点から、放課後児童クラブの対象年齢を従来の3年生までから6年生までに広げました。小1の壁、小4の壁と言われていますが、当市の学童保育の現状について伺う。

**【答弁】** 和光市公設保育クラブの定員の合計774名に対し、12月1日現在の入所児童数は714名となっており、60名分の空きが生じている状況でございます。一方、待機児童数は、諏訪保育クラブで8名、北原保育クラブで6名、合計で14名の待機児童が発生しております。

**【質問】** 待機が発生している学童保育から空きのある学童保育へバス等による送迎を考えると、

**【答弁】** 保育クラブに空きがある場合に、通える範囲内の学区の方に対してご紹介をするなどしておりますが、必ずしも、空いていれば第1希望の保育クラブ以外の保育クラブでも良いという希望を示されるわけではないというのが実際で、そのようなことから、学区域外の保育クラブへの送迎の実施はしておりません。

**【コメント】** 学童保育は、共働き・ひとり親家庭の小学生の放課後の生活を継続的に保障する、そのことを通して親の働く権利と家庭の生活を守るという、目的・役割を持っています。学童保育を必要とする家庭は今後増加するとも言われています。実際14名の待機児童がいます。今、財政状況が厳しい中、待機児童が発生している地域に学童保育所を増設するのは大変難しいと思っております。バス等の送迎も含め、待機児童解消に努めて頂きますようお願い致します。また先日、埼玉県の総合教育会議においても児童の居場所について話し合われたようです。当市も中高生も含めた居場所づくりについて教育会議でも検討して頂きますようお願い致します。





## 午王山遺跡保存について

**【質問】** 郷土の貴重な歴史を後世に伝えることは、私たちにとっては大変重要な使命だと思います。第67回和光市都市計画審議会、23年9月定例会においても、午王山遺跡公園整備構想について議論されています。その会議でも、当然その計画エリアの中の生産緑地については買取りの申出があった場合には引き続き買い取っていきとされていたと思います。午王山遺跡公園整備構想計画地の地権者から買取りの申し入れがあったにもかかわらず市が購入しなかった理由について伺う。

**【答弁】** 今回の買取りの申し出に対し、貴重な遺跡を後世に伝えるため、購入したかったわけですが、現状では難しいと泣く泣く断腸の思いで購入を見送ったものと認識しております。

**【質問】** 午王山遺跡はしっかりと後世に残していくことが大切だと思います。今購入しなければ保存していくことと午王山遺跡公園整備構想計画を成し遂げることができないと思います。午王山遺跡公園整備構想計画についてしっかりと位置づけをしていくことが重要だと思いますが、今後の構想と計画についてのお考えを伺う。

**【答弁】** 当初の構想予定地として、主に市道の北側の複数の畑を中心に考えておりましたが、この度、規模を見直す必要があるため、文化財保護委員会のご意見いただきながら、午王山遺跡の最大の特徴である弥生時代の環濠を中心とした保存方法にシフトし、再検討をしております。午王山は、歴史的価値が非常に高く、郷土の貴重な遺跡ですので、今後、午王山遺跡のあり方を明確にした上で、適切に保存し、活用しながら後世に伝えてまいります。

**【コメント】** 午王山遺跡は、弥生時代中期～後期の150棟以上の竪穴住居跡と、台地を囲む複数の環濠が発掘され、県内随一の大規模な環濠集落と確認され、荒川下流域での重要な拠点集落として知られています。多数の遺構と遺物の重要な考古資料が発掘され、和光市で最も貴重な弥生時代の遺跡です。午王山遺跡公園整備構想計画についてしっかりと位置づけをして、午王山遺跡を後世に残していくことが重要です。まだ間に合うと思います。是非土地購入を考えて頂きますようお願い致しました。



## 保存樹木について

**【質問】** 2017年も各地で台風などの影響により大木が倒れるなどの事故が起きました。また、保存樹木の所有者は枝の選定や落ち葉掃きに大変な思いをしています。近隣市では、保護樹木・保護樹林に指定された樹木の所有者の負担をできるだけ減らし、良好な保全を図ることができるように、せん定費用などの補助を始めています。当市も保存樹木維持費、せん定費用、賠償責任保険への加入などの補助制度を行ったらと考えるが。

**【答弁】** 近隣市の助成の状況等の調査・研究を重ねながら、保存樹木の助成のあり方について検討しております。

**【コメント】** 今、当市では、緑が減少している状況です。潤いある環境を形成していくには、水と緑は不可欠の要素であり、自然と共生する都市の形成には、緑空間が基幹的な空間となります。こうした意味で、今日的な新都市整備の課題を解決していくにあたり、緑空間整備は重要な要素です。また豊かな緑の資源である保存樹木を地域共有の財産として大切に保全していく必要があります。是非大切な資源を守る為に、保存樹木維持費を考えて頂きますようお願い致しました。



質問内容等は、和光市議会ホームページ議会会議録検索システムを利用しご確認ください。

**市政に対するご意見・ご要望、またなにかの時には、なんでも遠慮なく相談下さい。皆さんと一緒に考えて行きます。**

この会は、吉田たけしを中心に明るく、楽しく元気なまちづくりを目的に、会員相互の研修と親睦を行なっています。入会無料です。入会いただける方は右記にご記入の上、この面をFAXでお送りください。どうぞお気軽にご加入ください。



**吉田たけし後援会** 会長 柳下 茂

〒351-0111 埼玉県和光市下新倉4-15-1  
**TEL.048-424-3517 FAX.048-462-9369**  
<http://www.takechan-yoshida.jp>

お名前

ご住所

ご連絡先電話番号

携帯

メールアドレス